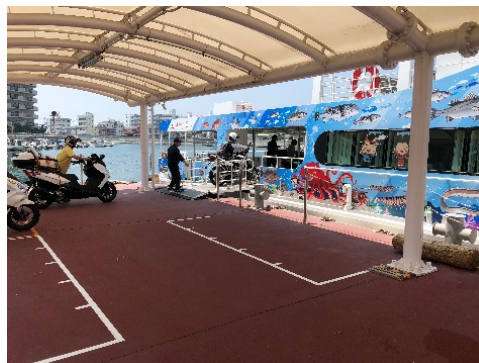


ジェノバラインへ小型二輪(125CC 以下)の乗船実現



明石と淡路島を結ぶ明石淡路フェリーが航路廃止となり、自転車や小型二輪(125CC 以下)の往来が出来なくなり、本会議等で4年間にわたり問題提起。2015年に小型二輪(125CC 以下)の積載が可能な新造船「まりん・あわじ」が就航。

兵庫ゆずりあい駐車場

外見ではわからない重い内臓疾患を抱えた方から制度創設の要望をいただき、本会議等で必要性を訴え実現。

身体障がい者、内部障害のある方などが適正に駐車場をご利用いただくために「兵庫ゆずりあい駐車場利用証」を交付する制度。



自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例

歩行者と自転車の事故の増加や自転車側に対して、高額な損害賠償事例も見られる状況から、自転車の安全を推進する条例の必要性を主張。結果、全国初となる自転車保険の加入を義務化する条例が実現。



兵庫地域安全 SOS キャッチ電話相談

尼崎連続変死事件を教訓に、県民から電話により日常生活の中で察知した異変の通報・相談を匿名でも通報できる敷居の低い電話相談。

いとう勝正 実績

薬物の濫用の防止に関する条例(危険ドラッグ条例)

問題提起当時、三宮等の繁華街で堂々と店頭販売されていた危険ドラッグを含むその類似品を「危険薬物」として定め、全国で初めて店頭での販売を届出制にするなど厳しく規制する条例。



防犯カメラ設置補助制度の創設

神戸長田区小1 女児殺害事件を機に、防犯カメラの映像が捜査の進展や犯人逮捕に大きく寄与していることが再認識され、犯罪抑止効果もあることから、兵庫県でも段階的に設置補助制度を創設。現在では、年間500件の設置補助を実施。

播磨圏域へのドクターヘリ配備

医療機器を搭載し、医師等が搭乗するドクターヘリは、早期に救命治療を開始することで、救命率向上と後遺症軽減が可能となることから、県内全域カバーの必要性を訴え、最後の4機目が加古川医療センターへ配備され、実現。



兵庫県迷惑防止条例の改正

「卑わいな行為等の禁止」の規制が拡大され、①盗撮を禁止する場所の拡大 ②盗撮の目的でカメラなどの撮影機器を設置する行為の禁止 により盗撮を厳しく規制。また、「嫌がらせ行為の禁止」の規制を新設し、正当な理由がなく特定の者に対し、執ように又は反復して行うつきまといなどの行為や、近所トラブルで頻発している乱暴な言動、名誉を傷つける行為などを新たに嫌がらせ行為として規制

JR明石駅へのホームドア設置

ホーム上での電車との接触による死亡事故が発生し、障がい者団体からホームドア設置の声を受け、明石市長、明石市議会の皆さまと石井国土交通大臣(当時)へ早期設置への支援を要請。令和2年3月に設置完了。



いとう勝正 実績

幣塚(ぬさづか)橋の架け替え

明石市西部の国道2号の幣塚橋。80年以上経過し老朽化が進む中、平成23年秋の台風豪雨による瀬戸川増水により幣塚橋付近で道路陥没が発生。本会議等で早期の架け替えを訴え、実現。現在、令和3年春ごろの完成を目指し工事中。

